

府中市消防団

検索



消防団だより

第62号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市防災危機管理本部消防担当内)
(TEL 042・335・4068)

【府中市消防団員職業別構成割合】
公務員7.6% 農業6.4% 商業1.7% 小売業5.8%
金融保険業2.9% 不動産業4.1% サービス業14.9%
建設業23.7% 製造業4.8% 商社1.2% 飲食店5.1%
造園業2.4% 運輸通信業3.4% 電気ガス業4.3%
学生2.4% その他9.3%



▲入退団式

本年、4月1日(火)に令和7年度府中市消防団入退団式を執り行い、新体制がスタートしました。年度当初のご多忙の中、高野市長をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

令和6年度をもちまして退団された24名の方々は、長年にわたり消防団活動に日夜献身的に取り組んでこられましたことに深く感謝申し上げます。

また、このたび、新たに副団長1名、分団長6名、女性団員10名を含む新入団員31名を任命し、総勢411名の新体制でのスタートとなりました。これは昨年同時期と比べ、15名増の体制です。今年度も府中市消防団が一元となって、府中市民の安全と安心のために力を尽くして参りますので、引き続き消防団活動にご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年度を迎え、昨今の防災状況等から我々消防団に対する期待は、日々増しているかと思えます。火災等への出動はもとより、様々な災害に備え日頃から各種訓練や点検のほか、防火防災意識の啓発活動等に精力的に取り組む、その責務を果たすべく活動していく所存です。

分団長をはじめ各分団の方々は、消防団員の使命を自覚するとともに、府中市消防団が地域防災の中核として市民の信頼と期待に応えられるよう、なお一層、消防団活動の充実に邁進されることを心からお願い申し上げます。



府中市消防団長
川崎 好之

新体制にあたり

令和7年4月1日(火)の人事異動により、日野消防署長から府中消防署長に就任しました水越です。どうぞよろしくお願いいたします。

今回、府中市消防団の消防団だよりに掲載の機会を賜り、誠にありがとうございます。

平成3年に東京消防庁に入庁し、これまで消防学校や消防大学校、人事部等、人に関わる仕事を長くさせていただきました。多くの人に関わらせていただく中で、仕事は勿論のこと、考え方、生き方等、人を通しての様々なことを教えていただきました。

消防署は多摩地区の消防署での勤務が多く、若い頃は、府中市日新町の家族寮にも住んでおりました。また、府中消防署も6年程前に地域防災担当課長として勤務させていただきましたので、府中市消防団の皆様をはじめ、地域の方から多くの声掛けをいただいたり、大変お世話になった記憶があります。こうして、また、府中に戻って勤務できることを大変嬉しく思っております。

あつという間に数か月が過ぎましたが、府中市消防団入退団式をはじめ、正副分団長研修会、府中市・第八消防方面合同総合水防訓練など各種行事に参加させていただき、消防団員の皆様方、自分達の街は自分達で守るという熱意と活気に溢れた活動を見させていただき、あらためて身を引き締まる思いを感じたところでもあります。

この1年余、府中市内では、市民の皆様の高い防火防災意識に支えられ大規模な火災等もない日々が続いておりますが、一方で国内外に目を向けますと大規模な地震や風水害、山火事等の自然災害が頻発しております。長年発生が危惧されております首都直下地震の発生についても、2014年、政府の地震調査委員会が示した「今後30年以内に70%」と言われるようになってから今年で11年が経過しており、いつ発生してもおかしくない状況であります。

日頃発生する火災等への対応はもちろんのことですが、震災等大規模災害に備えても万全なものにしておかなければなりません。府中消防署といたしましては、府中市民の安全安心を確保するため、府中市並びに府中市消防団と三位一体となって震災等大規模災害への対応に万全を期して参りますので、引き続き消防行政へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、府中市消防団が川崎団長を先頭に、ますますご活躍されますとともに、消防団員の皆様、ご家族の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

今後とも、どうかよろしくお願いいたします。



府中消防署長
水越 博光

水越 博光 消防署長 就任挨拶



女性消防団員誕生

令和7年4月1日(火)に行われました府中市消防団入退団式をもって、府中市消防団初の10名の女性消防団員が誕生しました。

今後、性別に関係なく多様な視点加わることにより、より一層の消防活動の充実強化に繋がっていきます。初年度については広報活動や救急救命、規律訓練を始めとした活動を行う予定です。地域住民の方々の安全安心を守るべく、活動の幅を広げていきますので、ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



新副団長
澤井 薫

澤井 薫
副団長 就任

令和7年4月1日(火)から女性団員が誕生したことに伴い、同日付で澤井薫氏が副団長に就任しました。

澤井副団長は、平成14年に第16分団へ入団し、平成31年から5年にわたり分団長を務められました。今後は、本団付女性団員、第16分団の担当副団長となります。



府中市・東京消防庁
第八消防方面
合同総合水防訓練

令和7年6月1日(日)多摩川河川敷押立地区において、府中市消防団・東京消防庁第八消防方面及び府中市・その他関係機関等による、府中市・東京消防庁第八消防方面合同総合水防訓練が行われました。

訓練会場では、今年度府中市消防団の各分団に1つずつ配備される、フローティングストレーナーのデモ演技も行われ、府中市長を始めとする来賓の方々にご覧いただきました。今回の訓練は関係各所の円滑な連携を図り、水防体制の万全を期するものであり、実際の災害時さながらの緊迫した雰囲気で行われました。

新入団員教育訓練

令和7年4月1日(火)から第7分団に入団した大谷真之介です。昨年まで分団長を務めていた父の背中をみて、私も地域の力になりたいと思い入団いたしました。この度、4月13日(日)に行われました新入団員規律訓練に参加し、消防団員としての基礎を学ぶ貴重な機会をいただきました。訓練では消防団員としての心構えをはじめ、敬礼や整列、解散といった基本的な団体行動の動作を一つ一つ丁寧に学びました。

会場の隣では、各分団の分団長の方々が自ら模範を示してくださった姿には深く感銘を受けました。言葉ではなく行動で伝える姿勢、積み重ねてこられた経験に裏打ちされた指導には、大きな学びがありました。

今後は、先輩方のご指導のもと一日でも早く消防団活動に貢献できるよう努力してまいります。ご支援ご指導のほど心よりお願い申し上げます。

第7分団 団員 大谷 真之介



令和6年度中
勤続4年以上で
退団された皆さん

12年以上 (14名)

- | | |
|-------|--------|
| 第3分団 | 照川 寛樹 |
| 第4分団 | 鈴木 雄一郎 |
| 第5分団 | 松本 光 |
| 第6分団 | 高木 重幸 |
| 第7分団 | 佐藤 清明 |
| 第8分団 | 大谷 将之 |
| 第9分団 | 林 耕多郎 |
| 第10分団 | 馬場 一記 |
| 第11分団 | 松本 健司 |
| 第12分団 | 長崎 益治 |
| 第13分団 | 林 雄祐 |
| 第14分団 | 小澤 直隆 |
| 第15分団 | 八尾 英和 |
| 第16分団 | 吉田 昌生 |
| 第17分団 | 吉田 昌生 |
| 第18分団 | 吉田 昌生 |

4年以上8年未満 (2名)

- | | |
|------|-------|
| 第3分団 | 荒井 勇人 |
| 第6分団 | 花岡 利輝 |

令和7年度新入団員

- | | |
|-------|--------|
| 団本部 | 村野 綾 |
| 団本部 | 佐藤 佳子 |
| 団本部 | 竹澤 見子 |
| 団本部 | 湯川 真紀 |
| 団本部 | 今野 夢七 |
| 団本部 | 鈴木 梢 |
| 団本部 | 清水 里沙 |
| 団本部 | 清水 香葉 |
| 団本部 | 戸塚 真理 |
| 団本部 | 石坂 智香 |
| 団本部 | 石坂 吉光 |
| 団本部 | 戸塚 豪辰 |
| 第2分団 | 石坂 豪辰 |
| 第4分団 | 田代 勝利 |
| 第5分団 | 佐藤 勝心 |
| 第6分団 | 今田 誉樹 |
| 第7分団 | 吉武 和也 |
| 第8分団 | 今野 大悟 |
| 第9分団 | 大谷 真之介 |
| 第10分団 | 北嶋 優也 |
| 第11分団 | 大石 星七 |
| 第12分団 | 荒木 康裕 |
| 第13分団 | 宮本 裕一 |
| 第14分団 | 鈴木 凛 |
| 第15分団 | 長谷部 陽祐 |
| 第16分団 | 半田 樹生 |
| 第17分団 | 外園 明成 |
| 第18分団 | 欠端 光来 |
| 第19分団 | 上園 遼介 |
| 第20分団 | 荻野 雄太郎 |
| 第21分団 | 松平 昌之 |
| 第22分団 | 佐藤 聖也 |

退団された分団長ご挨拶



前第18分団長
吉田 昌生

24年前、家業を継いだ自分を勧誘していただいたのですが、消防団そのものを知らなかったのと、仕事に専念したかったので正直戸惑いがありつつの入団で、厳しい訓練と規律、突如降って湧いた上下関係に衝撃を受けたのを今でも覚えています。ですが、訓練後や行事等で諸先輩が優しく接して下さり、プライベートでも相談に乗ってくれて自分の心は徐々に解れ、また災害現場での現実を目の当たりにして活動への意義を理解していきましました。分団長としての2年間は関係する皆様のご支援の下、地域の安全安心の為に、全身全霊で邁進する事が出来ました。退団後もこれまで自分を支えて下さった方々への感謝を忘れずに何らかの形で貢献していきたいと思っています。



前第15分団長
小澤 直隆

この度、令和7年3月末をもって、府中市消防団を退団いたしました。平成17年に入団してから20年間、最後の2年間は分団長を務めさせていただきました。第15分団団員・本団・事務局・府中消防署の皆様には、大変お世話になりました。地域の皆様のご理解とご協力にも感謝申し上げます。そして何より、色々な犠牲がありながらも支えてくれた家族に、深く感謝いたします。一市民という立場になりますが、基大化する自然災害にどの様に対応するか、今後の消防団に期待しつつ、消防団活動で得た知識や経験を活かして地域の防火防災に貢献できればと思います。最後になりますが、府中市消防団の発展と、団員の皆様とそご家族のご健康で多幸をお祈り申し上げます。



前第8分団長
馬場 一記

令和7年3月末をもって府中市消防団を退団いたしました。平成14年に入団し、「地域を守る消防団」として23年間、様々な訓練や消防団行事を通じて地域の皆様に支えられ、本団や市当局、消防署の皆様のご指導・ご協力を賜りましたこと大変感謝申し上げます。そして、最後の2年間は分団長として活動できたのも、第8分団OB会の諸先輩方、共に活動してきた第8分団の皆様のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。今後は消防団活動で学んだ経験を生かし、一市民として微力ながら地域の防火防災に尽力していきたいと思っています。府中市消防団の更なる発展と団員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。大変お世話になりました。



前第7分団長
大谷 将之

平成13年に入団して以来、24年間の消防団活動を地域の皆様をはじめ、市当局、府中消防署、本団の皆様方のご指導・ご協力をいただき、また何より第7分団の諸先輩方をはじめ団員の皆様の支えがあつて無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。在団中は大変な事など多々ありましたが、それ以上に貴重な経験や素晴らしい出会いをする事が出来て、心より入団をして良かったと思っております。今後は消防団活動で培った経験を活かして、地域の防災・防火に努めていきながら、第7分団のサポートも行っていきたいと思っています。結びに府中市消防団の益々の発展と皆様方のご健康を祈念申し上げます。



前第4分団長
鈴木 雄一郎

この度、令和7年3月末をもって府中市消防団を退団いたしました。平成21年に入団し16年間、消防団活動に携わり最後の2年間は分団長を務めさせていただきました。府中消防署、市当局、本団、諸先輩方のご指導・ご協力、そして第4分団の仲間からの支えがあつたからこそ感謝申し上げます。在団中は多くのことを学ばせていただきました。団員として過ごした時間は、私の人生の中でも大変貴重なものとなりました。今後は地域住民として、消防団の活動を陰ながら応援していきたいと思っています。今後の府中市消防団の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。16年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



前第3分団長
照川 寛樹

この度、伝統ある府中市消防団を、平成16年から21年間に渡り全うする事が出来ました。入団当初は家業を継ぐ為に地元に戻ったばかりで、知合いも少なく、不安一杯でしたが、時が経つにつれて多くの仲間が出来ること、全てが楽しくやりに変わっていききました。分団長での3年間は大変ハードでしたが、振り返ればあつという間の21年間でした。団本部、消防関係機関及び地域の方々には日頃よりご指南お力添えいただき、大変お世話になりました。また、団活動に理解をしてくれました家族に感謝すると共に、「東の要」第3分団の良き先輩、仲間感謝いたします。結びに、府中市消防団の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

消防団幹部紹介

令和7年4月1日現在

団本部



副団長
澤井 薫
平成14年4月1日入団
(団歴22年)



副団長
加藤 雅大
平成13年4月1日入団
(団歴24年)



副団長
大貫 剛
平成8年4月1日入団
(団歴29年)



副団長
田中 良和
平成14年4月1日入団
(団歴21年)



副団長
海老澤 拓馬
平成10年4月1日入団
(団歴26年)



副団長
村井 雅一
平成5年4月1日入団
(団歴30年)



副団長
田村 茂
平成16年4月1日入団
(団歴21年)



団長
川崎 好之
平成16年4月1日入団
(団歴30年)

分団長



第9分団長
菅原 一修
平成17年4月1日入団
(団歴20年)



第8分団長
堀江 将司
平成17年4月1日入団
(団歴20年)



第7分団長
金子 謙輔
平成20年4月1日入団
(団歴17年)



第6分団長
田中 博幸
平成15年4月1日入団
(団歴22年)



第5分団長
内海 雄治
平成17年10月1日入団
(団歴19年)



第4分団長
河内 辰徳
平成23年7月1日入団
(団歴13年)



第3分団長
岩波 伸和
平成15年4月1日入団
(団歴22年)



第2分団長
狩俣 堯慶
平成24年4月1日入団
(団歴13年)



第1分団長
小林 洋平
平成20年8月1日入団
(団歴16年)



第18分団長
上野 恒章
平成15年4月1日入団
(団歴22年)



第17分団長
斉藤 敬
平成8年4月1日入団
(団歴29年)



第16分団長
市川 智哉
平成18年4月1日入団
(団歴19年)



第15分団長
山下 力也
平成18年4月1日入団
(団歴19年)



第14分団長
鈴木 雅浩
平成18年4月1日入団
(団歴19年)



第13分団長
宮寄 徹
平成18年4月1日入団
(団歴19年)



第12分団長
福原 由晃
平成14年4月1日入団
(団歴23年)



第11分団長
夏目 雅樹
平成20年4月1日入団
(団歴17年)



第10分団長
齊藤 祐一郎
平成13年4月1日入団
(団歴24年)

編集後記



中部ブロック長
第8分団
上地 翔

第8分団広報委員の上地です。消防団だよりをご覧いただき、ありがとうございます。近年、気候変動や社会構造の変化により、災害リスクが複雑化しており、地域防災の重要性はますます増しております。災害はいつ起こるか分かりませんが、だからこそ、日頃の備えと地域の連携が何より大切です。消防団として、地域の皆さまとともに「備える力」を育み、安全安心なまちづくりに貢献してまいりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会名簿

- 会長
団長……川崎 好之
- 副会長
副団長……海老澤 拓馬
田中 良和
- 広報委員長
第2分団……長代 則彦
- 東部ブロック長
第6分団……榎本慎一郎
- 中部ブロック長
第8分団……上地 翔
- 西部ブロック長
第14分団……新澤 宏
- 本団付広報委員
団本部……湯川 真紀
鈴木 梢子
- 東部広報委員
第1分団……横田 真治
第3分団……安井 健浩
第4分団……金井 健一
第5分団……山田 幸幸
- 中部広報委員
第7分団……藤島 裕也
第9分団……大室 元
第10分団……小島 清匡
第11分団……加藤 聖也
第17分団……齋藤 拓海
- 西部広報委員
第12分団……依田 和也
第13分団……高橋 由
第15分団……千葉 誠
第16分団……市川 彼方
第18分団……角 真一